



活性化
部会

空き家対策について

活性化部会では、本年「町のにぎわいの創造」のために、「よろず相談所」を開設いたしました。

その手始めとして、「空き家対策」に着手いたしました。

空き家対策の概要は、1月号（78号）の町並み月報に詳細がありますが、今回は、その続報をお伝えします。

西組に空き家を所持しておられる皆さんに、空き家の利活用をお願いしたところ、約3分の1の皆様から、ありがたいご協力のお申し出を頂戴しました。

そこで、早速、活性化部会を中心に役員の方々にご協力をいただいて現地調査を行い、建物の損耗の度合いや、間取り調査、人に住んでいただくために克服しなければならない課題などについて、詳細な調査を行いました。

まだ、すべての空き家の調査が終わったわけではありませんが、いろんな空き家を見せていただきました。西組の建物には本当に味があるなあというのが、今の率直な感想です。

もちろん、一言で空き家といっても、いろんな程度の建物があります。

すぐ使えそうなもの、修理を施さないと人が住むには難しいもの、土蔵のついたとても大きく立派な建物から、こぢんまりした建物まで、いろんな空き家がありました。

今まで調べた建物については、ほぼデータベース化が終わりましたので、対象物件の調査を引き続き行い、一覧できる形にして、住民の皆様、そして全世界に発信して参りたいと思っております。

そして「西組に住みたい」とお考えの皆様には情報を提供し、町のにぎわいの演出に一役買うことができればいいなあと考えています。

地区住民の皆様も、これから、いろんな情報がありましたら、是非お寄せください。

活性化部会、これからも頑張ってお参ります。



小浜について

小浜飛鳥区 倉橋 藍

家族で東京から小浜に来て1年がすぎました。

早いものでハイハイしか出来なかった娘は、トコトコとよく歩くようになりました。

私自身この1年で変わったところは、東京にいるときには季節がいつのまにか移り変っていたのですが、「日が長くなったなあ」、「後瀬山に咲いている花が変わったなあ」など季節のうつろいをより感じるようになりました。そして自然に対して感謝の気持ちが生まれ、節分や雛祭りといった家庭内で祝う小さな行事も大切にしていきたいと思うようになりました。

ここでのくらしが、五感を研ぎ澄ましてくれたのかもしれませんが。時には、三味線の音色に耳をすませたり、お地蔵さんに供えられたお線香の匂いを嗅いだり、お気に入りの場所に隠れている猫を見つけたり、夜道は都会と違って暗くて怖いですが、ところどころ置かれた行灯のほのかな光が闇夜を照らし、なごませてくれます。

家の前を観光客が通りかかり、常高寺までの道やいわれを聞かれることもあります。そんな、あえて人が訪ねてくる価値あるところで日常を営めることを、とても誇らしくおもっています。

普段はひっそりした町内が、地蔵盆や放生祭といった祭事にはにわかには活気づき、地区をあげて事前に入念な準備をし、一生懸命に取り組まれているのは新鮮な経験でした。地域の行事に私たちのようなよそから来たものも快く受け入れていただき、本当に嬉しく思っています。

夫が祭りの山車を倉庫から出す手伝いをして、不注意から車輪に足をひかれ骨を折った時には、同じ地区の方が会うたびにお声を掛けてくださいました。また、娘と近所を歩いていると「かわいらしいなあ」と微笑みかけてくれます。自分たちも地域の方にしっかり見守られているのだと感じます。

最後になりましたが、小浜は海、山に囲まれて豊かな食材に恵まれています。こちらに来てから、庚申堂の朝市にでかけたり、魚市場でカレーを買って干物をつくったり、地元の梅で梅酒づくりをしたり、味噌を仕込んだりと小浜の食を満喫しています。

これからも小浜とより深く関わっていきたいと思います。そして良さを外の人にもっとわかってもらえるように、私なりに発信していきたいと思っています。



倉橋さんご一家

前号に投稿下さった倉橋宏典さんと今号の藍さんはご夫婦で、東京から小浜に来られました。小浜で暮らしてみたいの感想を書いて頂きましたので、2回に分けて掲載させていただきました。

小浜西組町並み協議会 22年度 第6回役員会報告

日 時：平成23年3月17日（木） 19：30

場 所：鹿島 町並み保存資料館

出席者：役員21名のうち、出席13名、委任3名により会が成立

1. 市より報告

ア 伝建審議会の委員の選出について

伝建審議会委員の改選がありますので、23年度、24年度の委員を協議会より一名推挙お願いします。

各区選出の委員については、区長さんをお願いしてあります。

イ 防災計画策定会議を近日中に開きます。委員の方はよろしくお願いします。

ウ 3月27日（日）に、鹿島河原邸にて伝建の見学会を行います。ご参加ください。

エ 伝建協議会（全国組織）の総会が5月18、19、20日に滋賀県の東近江市にて開かれます。参加希望者は市役所、野瀬様までお申し出ください。

1. 協議事項

ア 芸術文化活動推進事業について

県より補助金をいただき、3年計画で「アーティストインレジデンス」と銘打って、昨年西組に滞在したアメリカ人の芸術家を招聘する事業を行いたいという提案が市よりありました。昨年は、ウエスト物語に呼応してオバマを勝手に応援する会が招聘したという形をとり、町並み案内所に宿泊して創作活動を行いました。今年も是非訪れたいという意向が、勝手に応援する会の前野事務局長から伝えられました。

マスタープランにもある、芸術のあるまちづくりという観点にも合致することから、本年は西組協議会主催という形を取って、県の補助金をいただき、勝手に応援する会からも資金の提供をいただきながら、実行するというものです。

県の補助金は三年計画が前提ですので、23年度はこの事業に取り組み、来年、再来年は別の事業を展開いたします。

事業を通じて西組をPRしていただくことなどが説明されました。

イ 一門一灯について

先日、活性化部会と大島顧問の作業が終了し行灯が新たに200個完成しました。

年度が変わったら、役員さんを中心に各区で販売を開始します。原価は4,500～5,000円ですが、1,500円の格安にて販売します。

ウ 空き家対策について

皆様にご協力を頂戴して作成しました西組の空き家リストをもとに、市より協議会と連名で、売却、賃貸などの活用の意思確認を行いました。

40軒のリストのうち、25軒から回答をいただき、条件付きを含め「賃貸希望」が4軒、条件付きを含め「売却希望」が4軒、「どちらでもよい」が6軒の、合計14軒がご協力の意思表示を下さいました。

早速このあと、オーナー様の同意を以て現場調査を行い、データベースを構築します。

そのデータベースを活用して、よろず相談所を開設し、域内、域外を問わず、西組に住みたいかたへ情報の発信をして参ります。

エ 平成23年度事業計画について

会長から予算については、独自予算は市当局からの補助金18万円のみとなっています。

収入の増加も視野に入れながら、新たな予算案原案を作成します。

見学会 開催

平成23年3月27日(日)市の主催で重伝建保存修理事業を行なった鹿島区の河原様宅の家屋の見学会がありました。すり上げ大戸に関心したり、玄関ホールから奥を見た雰囲気がいいとか2階の梁を見せているところが開放的でいいねなど口にしながらか鹿島区民の方をはじめ約30名の方がゆっくり見学させていただきました。



小浜西組町並み協議会からの 活動報告とお知らせ

平成23年3月14日(月)兵庫県豊岡市より出石まちなみ保存会の方22名が視察に来られ、当協議会から役員5名が対応しました。出石は城下町として栄えた町で小浜西組より半年前に重伝建地区に選定されています。皿そばはあまりにも有名で現在は45件のお店が営業しているということです。



町並み保存資料館に東日本大震災の義援金箱が設けてあります。義援金は市役所を通じて被災地に寄付させていただきます。ご協力よろしくお願いします。



企画運営部より

町並み保存資料館では鯉のぼりと5月人形展を行なっています。お気軽にお立ち寄りください。



日時 4月22日(金)～5月12日(木) 午前9時～午後5時(期間中の休館日 4/26、5/6、5/10)